

このたびは、トヨタ純正フォグランプベゼル(ガンメタ)をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ございます。

本書は、フォグランプベゼル(ガンメタ)を取り付ける場合の取付要領について記載してあります。
取り付けの前に必ずお読みいただき、記載された内容に従って正しい取り付けを行ってください。
特に、

- ・本品を改造しての取り付けは、絶対に行わないでください。
- ・記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合があります
すのであらかじめご承知置きください。

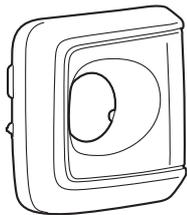
品 番

品 番	08598-B5080
-----	-------------

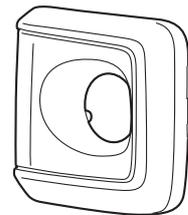
構成部品名

【取り付け前に以下の表に従って部品がそろっていることをご確認ください】

①フォグランプベゼル(ガンメタ)(RH)



②フォグランプベゼル(ガンメタ)(LH)



NO	品 名	品 番	個数	補修品有無
①	フォグランプベゼル(ガンメタ)(RH)	08598-B5081	1	有
②	フォグランプベゼル(ガンメタ)(LH)	08598-B5082	1	有
	取付要領書(WEB)	—	1	無

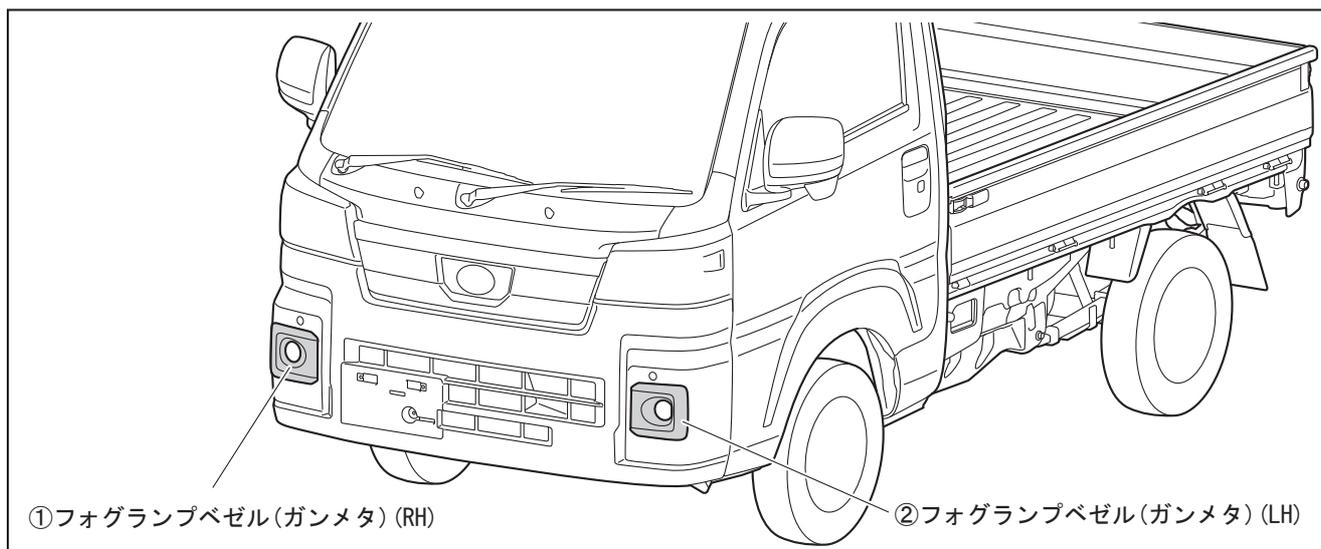
取付に必要な工具

クリップランプツール、保護テープ、ドライバー(プラス、マイナス)、バンパー置台、ラジオペンチ、ボックスレンチ

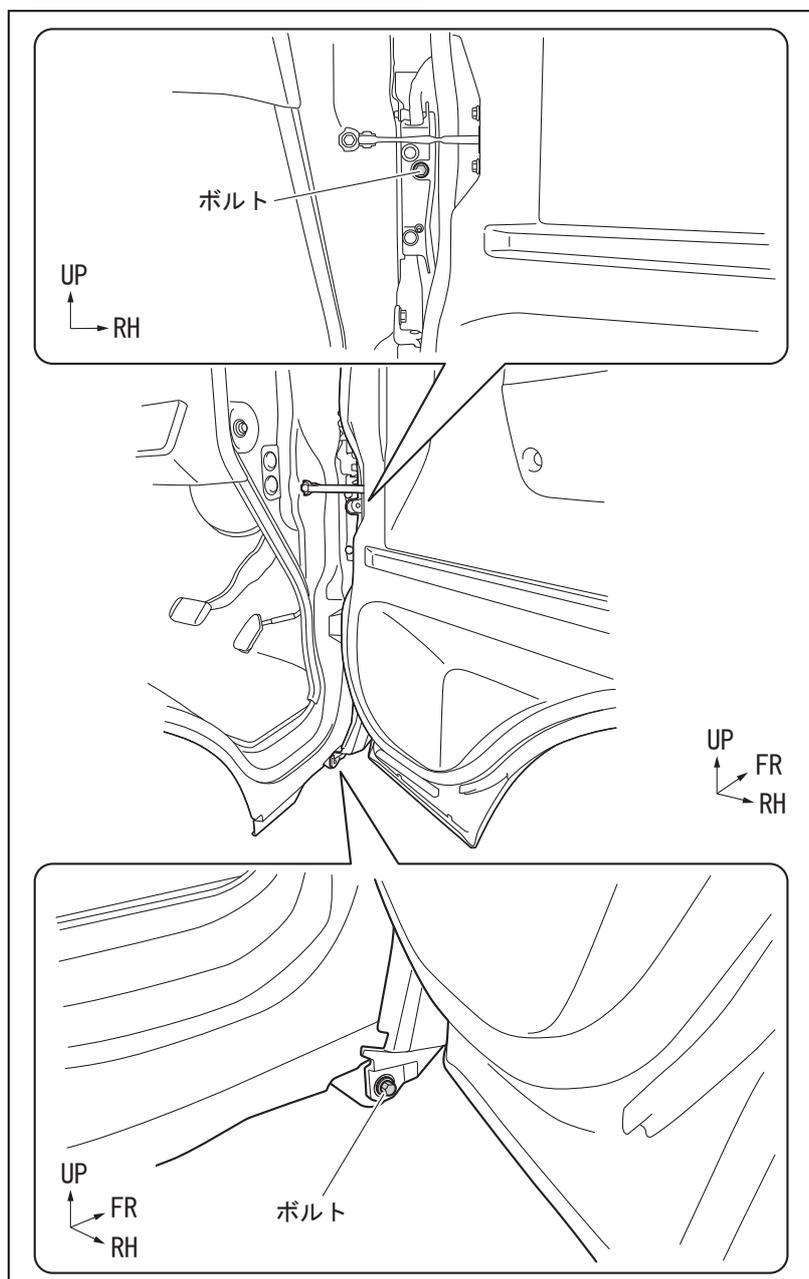
取付上の注意

- この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。
⚠️注意 …… 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を破損するなどの恐れがあります。
📖アドバイス …… スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。
- 取り付け作業は、安全な場所に車を駐車し、パーキングブレーキを確実に作動させて作業を行ってください。
- 車両部品の取り付けに際しては、クリップ、スクリュー、ボルト類は再使用しますので、紛失や損傷させないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違えないよう配慮してください。また、車両に傷を付けないよう取り扱いには、十分注意してください。
- 車両バッテリー(-)端子を取り外してから作業を行ってください。

取付概要



取付要領

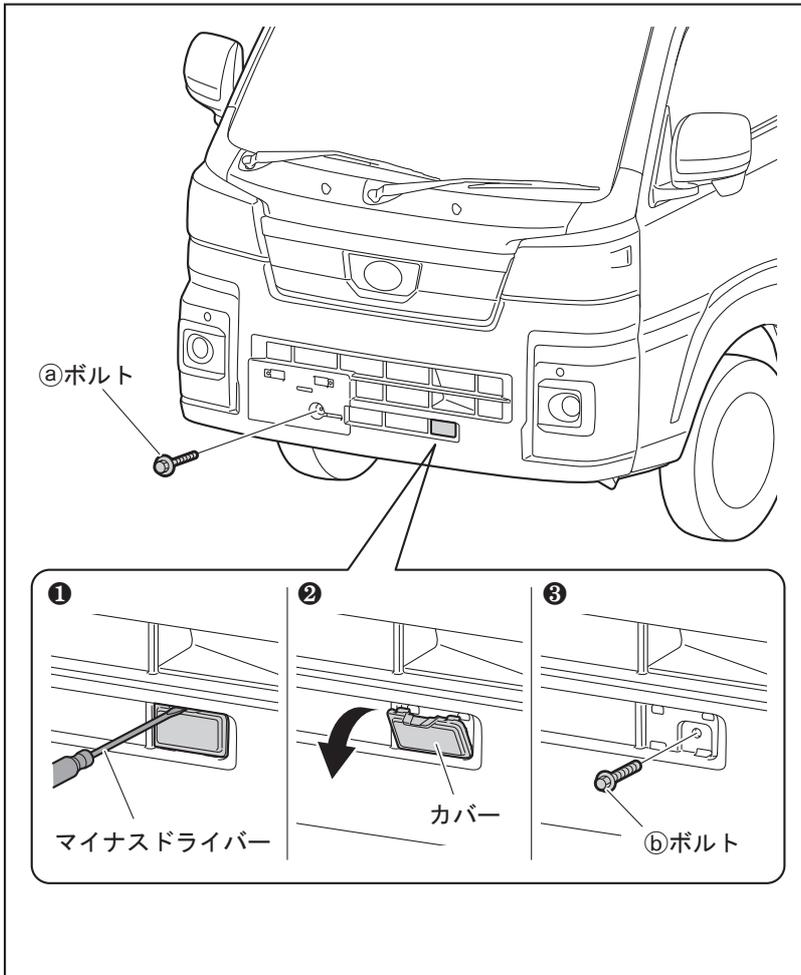


1. フロントバンパーの取り外し

- (1) 車両部品傷付き防止の為、車両及び使用工具の先端に保護テープを貼る。
- (2) フロントドアを開け、左図位置のボルトを外す。(2箇所)
(LH側も同様に外す。)

⚠注意

- ・取り外したボルトは、再使用しますので、無くさないようにご注意ください。

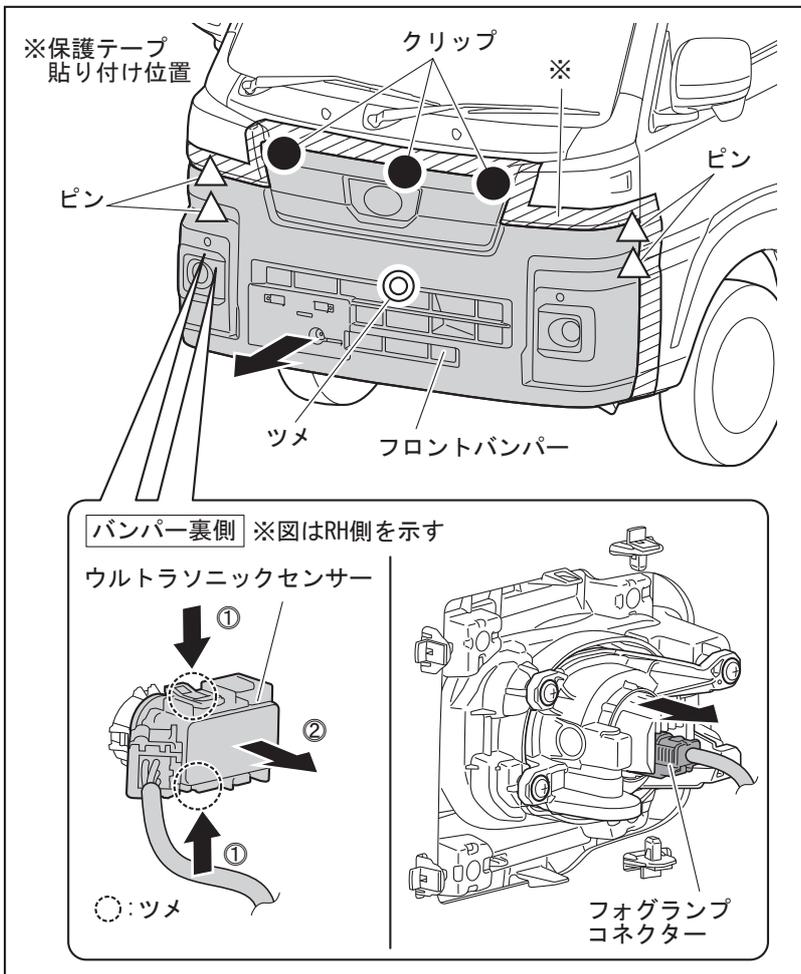


(3) 左図を参照し、**a** ボルトを外す。

⚠注意

・取り外したボルトは、再使用しますので、無くさないようにご注意ください。

(4) 左図を参照し、**1** バンパーに付いているカバー上部にマイナスドライバーを掛け、**2** カバーを外して、**3** 内部の**b** ボルトを外す。



(5) 左図位置のクリップ、ツメのかん合を外す。

⚠注意

・ピンを折らないよう慎重に作業してください。

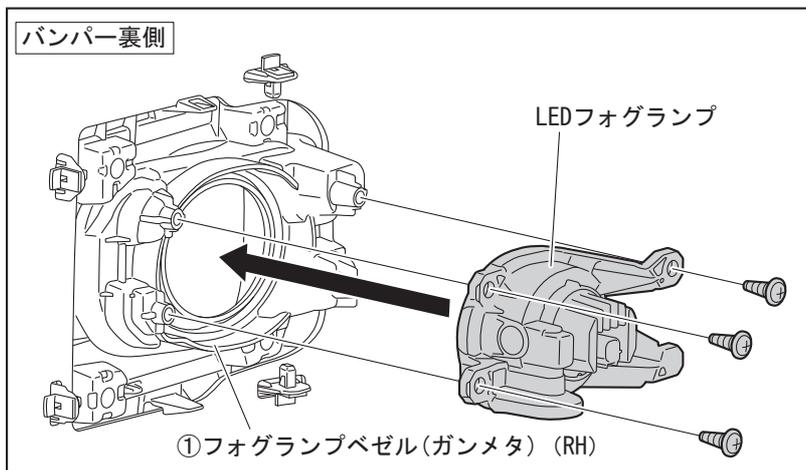
(6) フォグランプコネクタの接続を外す。

(7) 左図を参考にウルトラソニックセンサーのツメを矢印**1**の方向に押し、かん合を外してから矢印**2**の方向へ取り外す。

⚠注意

・ウルトラソニックセンサーのコネクタは切り離さないでください。コネクタを切り離した場合、ソナー機能検査が必要となります。

(8) フロントバンパーを取り外す。



5. LEDフォグランプの復元

- (1) 2. (1) で外したスクリューでLEDフォグランプを①フォグランプベゼル(ガンメタ) (RH) に取り付け
- (2) LH側も同様に作業をする。
- (3) 1. (6) (7) で外したウルトラソニックセンサー及びフォグランプコネクターを接続する。
(RH側、LH側)

復元作業

外した部品を元の位置に取り付け、保護テープを取り外してください。

⚠注意

復元時に車両ハーネスを噛み込んだり、シャープなエッジに干渉したり、車両部品を破損させないように充分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。
作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

取付後の点検

- ・フォグランプベゼル (ガンメタ) が車両に確実に固定されているか、確認してください。
- ・浮き、スキがないか確認してください。

取扱上の注意

- ・汚れた場合は、スポンジ等に中性洗剤を付けて水洗いし、水分をウエス等で拭き取ってください。シンナー、酸、アルカリ等の有機溶剤、コンパウンド等含まれている物の使用は避けてください。(表面を傷める原因となります)